

The logo for QUICK Professional, featuring the word "QUICK" in a bold, sans-serif font with a small circle above the "i", followed by "Professional" in a lighter, sans-serif font. The logo is set against a dark olive green circular background.

QUICKの会社概要と提供サービスのご紹介

弊社の事業内容とマーケット情報提供・投信ポートフォリオ提案サービスについて

2021年2月5日

株式会社QUICK

※本資料に記載の会社名および製品名は各社の商号または商標もしくは登録商標です。
※本資料に記載の画面例等はサンプルです。記載の内容は今後変更の可能性があります。

QUICKは、日本経済新聞社のグループ会社です。

1971年に日本初の金融情報提供会社として設立されて以降、公正・中立な立場での「情報ベンダー」として、プロフェッショナルから個人の方まで幅広いシーンに、QUICKならではの信頼性の高い情報をお届けしています。

概要

設立	1971年10月1日
資本金	6億6千万円
代表者	代表取締役社長 近藤勝義
従業員数	688人
売上高	325億円（2019年12月）

事業内容 日本経済新聞社グループの金融情報サービス会社として、世界の証券・金融情報をはじめ、政治・経済情報をリアルタイムで配信。

資産運用支援、注文執行業務の支援、情報ネットワーク構築支援サービスなど証券・金融市場に関連する総合的なソリューションを提供。

会社沿革

- 1971年 日本初の金融情報ベンダー「株式会社市況情報センター」として創業
- 1974年 日本初のオンラインリアルタイム証券情報システム「ビデオ-I」サービス開始
- 1984年 金融指標の一覧表示システム「指標ボード」サービス開始
- 1986年 総合金融情報システム「QUICK-10」サービス開始
- 2000年 証券・金融リテール営業を支援する「QUICK LevelXシリーズ」が本格稼働
- 2002年 金融のプロのあらゆる業務に応える「QUICK ActiveManager」が本格稼働
- 2006年 個人向け資産運用コンサルティングのトータルソリューション「Astra Consultant」サービス開始
- 2007年 マーケット分析とポートフォリオ運用の資産運用ソリューション「Astra Manager」サービス開始
- 2013年 証券・金融プロフェッショナル向け次世代サービス「Qr1」（QUICK LevelX r1）をサービス開始
- 2014年 QUICK ESG研究所を設立
- 2015年 米国FactSetと協業し、QUICK FactSet Workstationをリリース
個人投資家向けwebサイト「QUICK Money World」をリリース
- 2016年 株式会社QBRを吸収合併し、企業価値研究所・資産運用研究所を設立
AI（人工知能）活用した自動解析ニュース「QUICK AI速報」リリース
- 2018年 情報・分析ノウハウのすべてを結集した金融総合情報サービス「QUICK Workstation」サービス開始
- 2019年 野村総合研究所と共同出資でシステム開発会社を設立
SCRIPTS Asiaと資本・業務提携し、投資家向けイベント議事録の提供を開始
Finatextと共同で金融情報プラットフォームのサービス開始
- 2020年 日本資産運用基盤グループと業務提携に関する基本合意書を締結

QUICKでは証券会社や銀行、信用金庫等、金融機関のお客さま向けのソリューション提供のほか、デジタルサイネージやマスコミ向けの各種データ提供、また公正・中立な立場を生かした独自のナレッジコンテンツの提供にも力を入れています。

1. 金融機関向けソリューションサービスのご提供

リテール営業、ホールセール・運用部門への情報端末のご提供のほか、オンライントレードやホームページサービスなどのカスタマイズサービスやデータ提供など、多様なサービスをご提供しております。

2. デジタルサイネージ向け情報提供

証券会社や銀行等、金融機関の店頭向けデジタルサイネージサービス（大型表示）では、株価情報以外にも速報ニュースや指数・外国為替など、幅広いコンテンツをタイムリーに配信しています。

3. マスコミへのデータ提供

「日経平均株価」をはじめとした日本を代表する指数の算出のほか、各種経済データをマスコミ向けにご提供しております。

また、最近では各種メディアへの社員（研究員）の登壇など、ナレッジコンテンツのご提供にも注力しております。



▲ デジタルサイネージ例

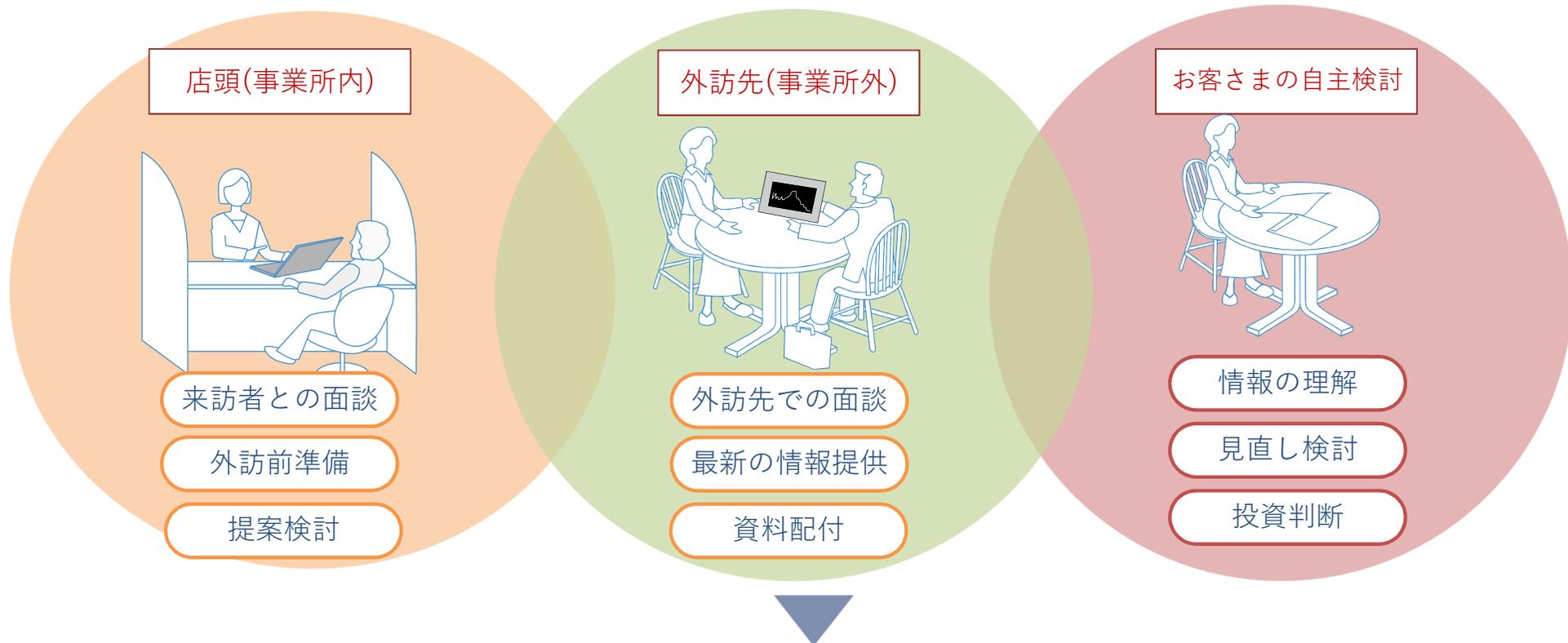


▲ 資産運用研究所 研究員出演 情報番組

資産運用コンサルティング業務の支援について

資産運用相談の業務におかれましては、対面でのコンサルティング以外に オンライン面談やデジタル化を推進し、お客さまとの接点（接触）の強化に取り組まれていることと存じます。

QUICKは事業所内の業務から外訪先での対面営業、その他、証券会社や運用会社を通じたネットサイト等の非対面チャネルに対し、資産運用コンサルティングの課題を満たす業務支援サービスを展開しています。

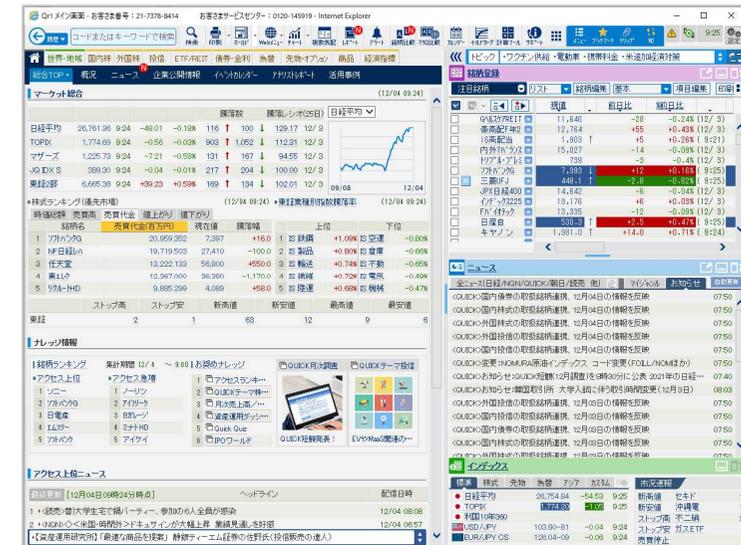


PC・タブレットでの情報提供やお客さまへ配付可能なレポートなど、お客さまの業務課題を解決するソリューションを提供しています。

QUICK LevelX r1 (Qr1)

- リアルタイムな金融・経済情報と速報性の高いニュースをご提供
- 資産運用相談業務に必要なマーケットの情報をワンストップで完結
- 高い検索性と直感的な操作感
- 導入が容易なWebアプリケーション（ブラウザ利用サービス）

実際の画面にて詳細をご案内します。

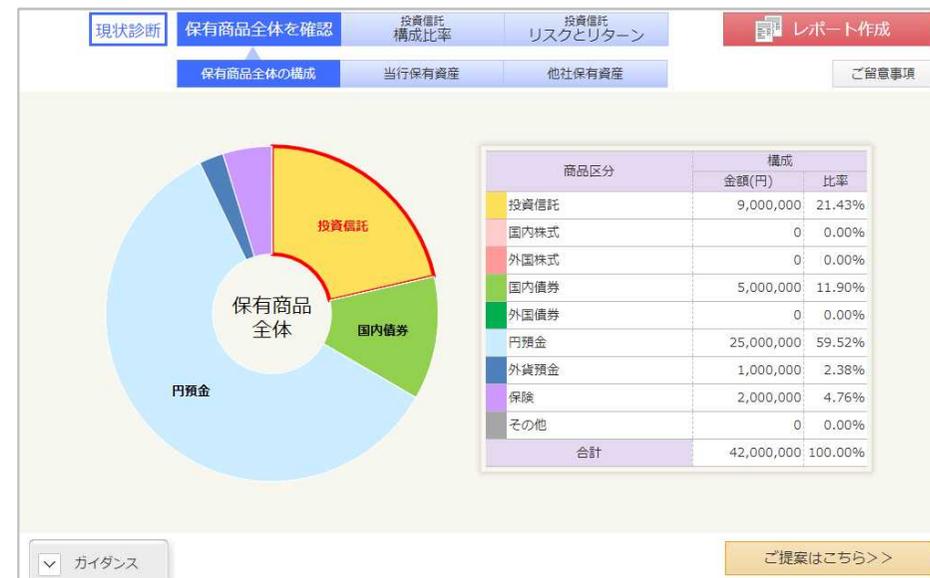


▲ Qr1 トップページ

QUICK Asset Design Consultant 投信ポートフォリオ提案サービス

- 保有投資信託を投資対象、通貨、国別に分類・分析
- 分散投資を切り口とした現状診断が行えるツール
- リスク・リターンの改善を軸とした見直し提案
- 自社以外で購入の投資信託も分類・分析の対象

提供画面例の案内資料にてご説明します。



▲ ポートフォリオ提案ツール 現状診断画面例

QUICKファンドスコア

- 投信を投資対象の資産別に15のグループに分け、その分類の中でどのランクになるかを多角的な視点で相対評価し、個々のファンドに1~10の総合スコアをつけています。
- スコアが10に近いほど同じ分類の中で他のファンドよりも評価が高いことを示します。
- 長期投資に向く投信かどうかを5つの項目で分析する顧客本位のファンド評価です。



▶ QUICKファンドスコア

QUICK A I 株速報（ニュース）

- 人工知能（AI）で株価の動き、企業業績を解析し、市場ウォッチャーが日常のルーティンで行っている銘柄探し等の行動を再現。
- AIが人（記者）よりも幅広い銘柄をウォッチし、ファンダメンタルズや取引の変化、テクニカルシグナルなど多様な材料を基に、「今、動いている銘柄」、「これから動きそうな銘柄」を知らせます。
（1日約100本の記事を配信）

▶ QUICK A I 株速報

<A速報>【空売り規制】オンキヨーHEが発動(17銘柄:14時)	02/03 14:05
<A速報>【騰落率】値下がり上位:シンフォニアが下げ拡大、キンゾクETFも安い	02/03 14:04
<A速報>【騰落率】値上がり上位:ネットイヤーが上げ拡大、セルシードも高い	02/03 14:04
<A速報>【売買代金上位】ファナックの買い目立つ、NF日経レハが首位	02/03 14:04
<A速報>【材料発生】MonotaROが14.13%の大幅高、フューチャーは13.87%の大幅高	02/03 14:04
<A速報>【寄付後下落率】グランディヤアーキテクツU、加地テックなど	02/03 14:04
<A速報>【寄付後上昇率】野崎印やヤマザキ、ジーンズメイトなど	02/03 14:04
<A速報>【新安値】オンキヨーHEが更新(14時:4銘柄)	02/03 14:04
<A速報>【新高値】日油、地域新聞など更新(14時:102銘柄)	02/03 14:04
<A速報>【ストップ安接近】日ユニシス、VDX短期など(14時時点)	02/03 14:04
<A速報>【ストップ高接近】ネットイヤー、MonotaROなど(14時時点)	02/03 14:04
<A速報>【空売り規制】エスポアが発動(16銘柄:13時)	02/03 13:05

QUICKの業務提携と今後の予定①

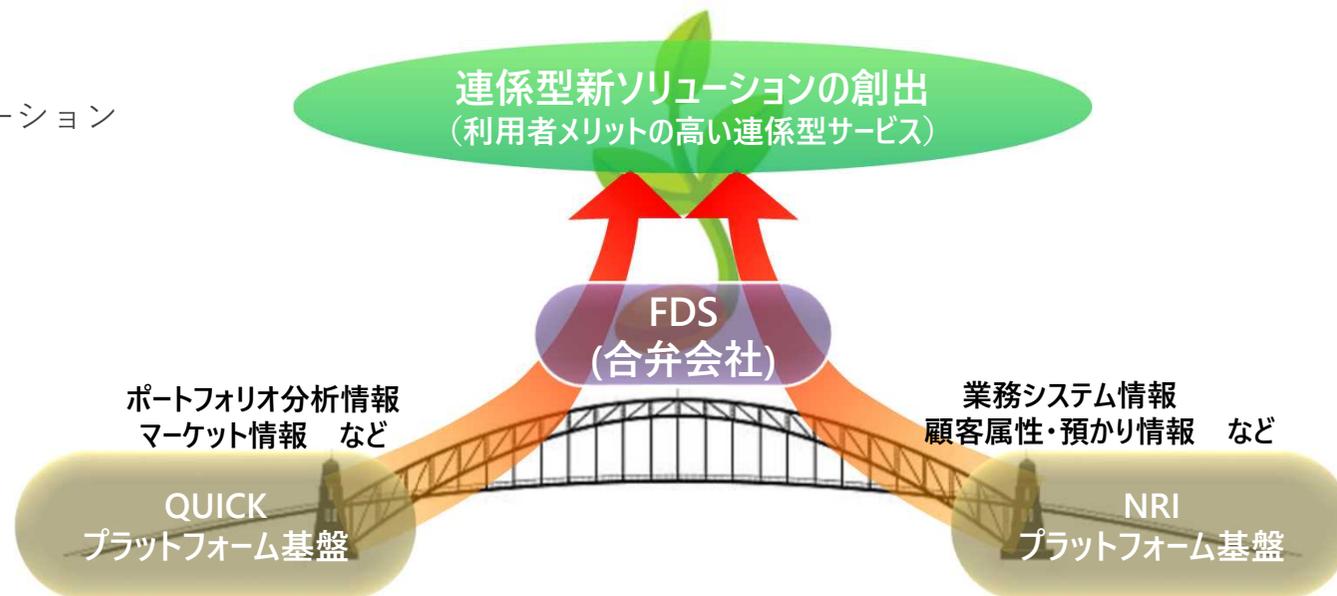
野村総合研究所（NRI）との合併会社の設立について（2019年10月）

QUICKと株式会社野村総合研究所（NRI）は、金融機関のリテール部門の業務効率化と金融商品販売の高度化を支援する共同出資会社「株式会社Financial Digital Solutions」（フィナンシャル・デジタル・ソリューションズ：FDS）を設立しました。

業務システムと情報サービスの連係を実現・標準化し、より一層お客さまにご利用いただけるサービスの創出に取り組んでおります。新会社は、QUICKの高品質な情報とNRIの高度なソリューションを融合させた新しいサービスを開発し、金融機関を中心とした環境変化への対応に貢献します。

- 情報サービス提供の協業
- 業務システムと情報サービスの連係（企画中）
- その他、デジタル化を支援する新しいソリューションの開発 など

▶ 協業イメージ
（概念図）

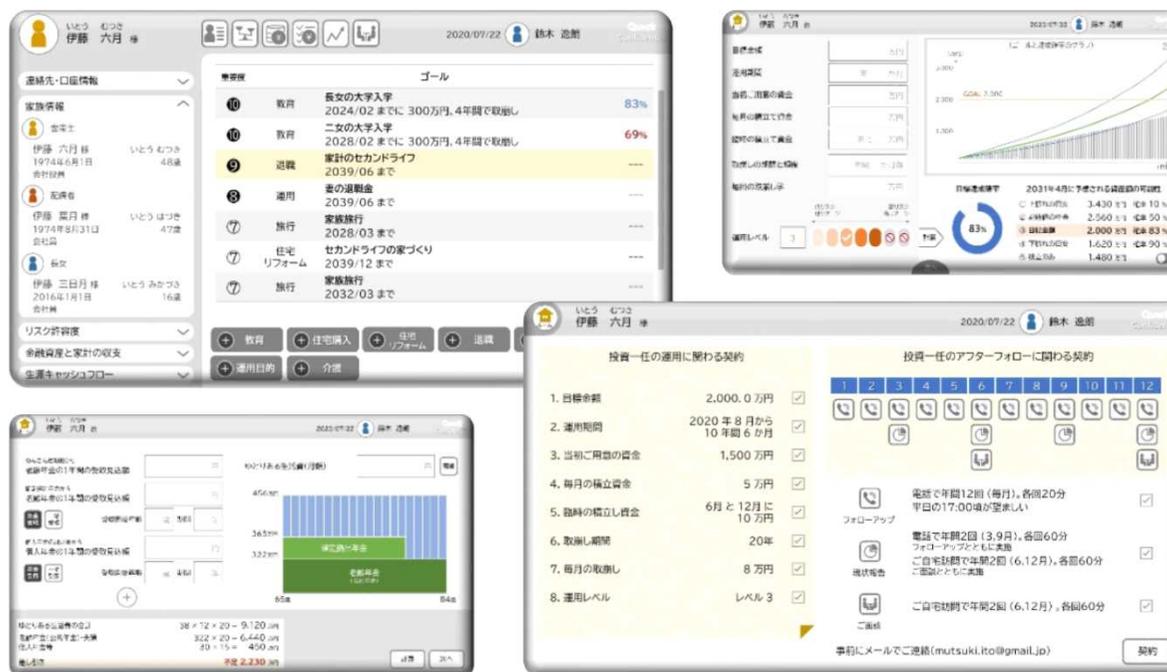


日本資産運用基盤グループ（JAMP）との業務提携について（2020年4月）

「ラップ契約内蔵型投信活用投資一任スキーム」による投資一任事業への参入・事業運営支援を提供する株式会社日本資産運用基盤グループ（JAMP）とQUICKが協業し、個人向けファイナンシャルアドバイス（FA）業務を支える新たなソリューションを開発、ご提供していきます。

資産運用領域における両社のノウハウや知見を組み合わせ、ゴールベースアプローチ提案や、アフターフォロー重視のリレーション・マネジメントツールなど、顧客アプローチを支援する様々なソリューションを提供し、資産運用アドバイス事業の拡大、および資産形成の促進に貢献して参ります。

- ファイナンシャルプランニング
- ゴールベースプランシミュレーション
- アフターフォローの支援と管理
（FA/管理者向けダッシュボード）など



▶ 主な画面イメージ